

◎ **死別の分かちあいの集い：14時～16時**

- ・伴侶：毎月**第一土曜日**（7/6、8/3、9/7、10/5）
- ・子ども：毎月**第一日曜日**（7/7、8/4、9/8、10/6）
- ・自死：毎月**最終土曜日**（6/29、7/27、8/31、9/28）

本堂2階にて開催しています。予約も参加費も不要です。遅刻も早退も構いません。辛い寂しいお気持ちを吐露してください。超覚寺門徒でなくても参加できるので、お知り合いの方にも是非ご案内ください。

◎ **浄土真宗基礎講座：毎月最終日曜日 14時～15時**

今後の開催日 ⇒ 6/30、7/28、8/25、9/29、

親鸞聖人が記された正信偈の講義や読経の練習をしております。雑談も多いです。初めての方も遠慮せず、どうぞご参加ください。

◇ **寺院護持費(墓地管理費)について**

寺院護持費のお支払いについては、お墓参りの際に玄関までお越しください。期日も設けておりません。今まで振込みをされていたご遠方の方々は、振込口座が下記に変わりましたのでご注意ください。

【ゆうちょ銀行 15190-55770601】

◇ **報告・連絡・僧談**

・ 広島ホームテレビ(テレビ朝日系列)朝の情報番組【やじうまテレビ】の「きょうの説法」コーナーの法話は四ヶ月毎に単行本化され、6/13に第4巻が出版されます。私が出演した昨年8月と11月の8回分も掲載されるので是非ご覧ください。なお印税は全て「自死・自殺に向き合う僧侶の会」に寄付されます。

・ 本堂のトイレの改修工事に伴い、その真下の1階庫裏部分も改装しておりました。それが完工し、3月末に家族が引っ越しお寺に戻ってまいりました。3年振りに境内がにぎやかに(うるさく?)なりますが、ご容赦くださいませ。

・ 広島市の被爆体験伝承者の養成研修を受講しております。広島県外の生まれ育ちですが、広島で僧侶になった者の責務だと思い、取り組んでいます。

発行人：超覚寺住職 釈隆恩(和田隆彦) (*-*)人 i~ 合掌

2013年6月夏 超覚寺報 第7号

【八丁堀だより】



真宗大谷派(東本願寺)



林鷺山 憶西院 **超覚寺**

RIN-OKU-ZAN OKU-ZEI-IN CHOH-KAKU-JI

(since 仏暦2002, 西暦1619, 元和5)

〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀 5-2

Tel : 082-221-1234 ; 090-9999-3113

Mail : otera@kme.biglobe.ne.jp

Blog : <http://namuamidabutsu.ameblo.jp>

超覚寺 夏・秋の法要のお知らせ

慈光のもと、平素は様々にお世話になっておりますこと、
ありがたく存じます。

さて、下記の通り法要・法座を勤修いたしますので、
ご参詣くださいますよう、ご案内申し上げます。 <(_ _)>

◎ 原爆忌法要

8月6日(火) 8時00分～ 広島原爆死没者追弔会
8時15分 1分間黙祷

8月9日(金) 10時50分～ 長崎原爆死没者追弔会
11時02分 1分間黙祷

※ お寺に来られない方も、
その日・その時間・その場にて黙祷いただきますよう願います。

◎ 盂蘭盆会法要

8月14～16日(水・木・金) 10時～10時半

- ※ お盆・初盆のお参りをご希望の方は早めにご連絡ください。
- ※ 遠隔地の方のお墓参りの代行(墓前読経)も承ります。
- ※ 8/17の午後に、業者さんが墓地を清掃致します。
- ※ 広島安芸門徒の伝統行事【盆燈籠】を昨年から解禁しております。
でも超覚寺での販売は、従来の墓参札・墓花・御線香だけなので、
盆燈籠はお持込みにてお供えください。

◎ 秋季彼岸会(永代経)法要

9月23日(月・祝) 14時～ 勤行・法話(住職)
15時～ 休憩・茶菓タイム
15時半～ 落語(笑福亭仁智師)

◎ 2013年の年回忌に該当する方はご確認ください。

・2012(平成24)年： 1周忌 ・2011(平成23)年： 3回忌
・2007(平成19)年： 7回忌 ・2001(平成13)年： 13回忌
・1997(平成9)年： 17回忌 ・1989(平成元)年： 25回忌
・1981(昭和56)年： 33回忌 ・1964(昭和39)年： 50回忌
日時が決まりましたらご連絡ください。ご自宅でもお寺でも承ります。
該当される方のお名前を境内の墓地通路に掲示しております。

◇ カルト宗教・カルト教団について

オウム真理教の事件から大きな社会問題として認知されたカルト問題は、
依然根強く続いております。4月の入学シーズンの華やかな雰囲気は落ち着
く今の時期が、実はカルト宗教の勧誘が多くなる危険なシーズンでもあります。

「カルト」について色々な言い方ができますが、定義は確定していません。
ただカルト性の強い集団の集団的特徴は以下の4つにまとめられます。

・過度な集団アイデンティティ：教祖に従い教団に所属すること以外に
自分の存在意義を持てなくなる。

・個人生活の剥奪：個人として社会生活が奪われる。

・内外の批判封鎖：集団に対する批判を自分の中に持たないようにし、
外からの批判も許さなくなる。

・絶対服従：教祖や教団に自身の判断や思考・行動を全て委ねる。

このような集団的特徴を持つために以下のような傾向があります。

① 強いカリスマ支配：教祖に背くことに恐怖を抱くようコントロールする。

② 終末論(亡国論)：様々な現代状況をその予兆とし恐怖心を煽りたてる。

③ 罰論(応報論)：教祖を信じないと地獄に落ちるとか言い募り、個人を
脅し、心理的に恐怖心を定着させる。

ご家族の中で新入生がいっしょやる場合はどうぞご注意ください。お困りの
時は、超覚寺または真宗大谷派(東本願寺)青少年センター【FAX相談：
075-351-9599】までご連絡ください。

☆ 【 法事 】 Q&A

- ① 一番多いご質問は御布施についてです。広島では「御布施・御供(自宅なら御車料)・御膳料」、または3つまとめて「御布施」としてお供えするのが一般的です。御布施はそもそも**自由懇志**(喜捨：きしゃ)なので金額に決まりはありません。なお御布施は法事の料金ではないので、「読経料」という名目は避けてください。
- ② 法事に掛かる時間は、読経から法話まで約30分です。複数の法事を続けてお勤めする場合は約15分ずつ時間が延びます。
- ③ **小さいお子さまにも大切な御法縁**になりますから、ぜひ同席させてください。その際はお子さまにも我慢できるよう、読経を速くして時間を短くします。
- ④ お寺での法事は皆さまにゆっくりお参りいただけるよう間隔に余裕を持たせて、開式時刻は基本的に**・10時・11時半・13時・14時半**にしております。予約状況によっては時刻の変更希望も承りますので、何なりとご相談ください。
- ⑤ 駐車場は7台分あります。周辺にはコインパーキングも多数あります。その他ご不明の点は、遠慮せずどうぞご質問ください。

◇ 超覚寺総門徒合同墓について

合同墓とは、お墓の継承者やお参りをしてくれる身寄りがいない、遠距離のためお墓参りできない、経済的にお墓にお金をかけられない等の事情でお困りの方を対象に、寺院が代わりに永代供養するお墓です。超覚寺では境内墓地の一番奥に戦前からの無縁墓をまとめて安置しておりますが、ここを整地して新たに超覚寺総門徒の合同墓を建立することを検討しております。

現段階の計画案は以下の通りです。

- ・デザインは一般的な和型で、かなり大きいサイズです。
- ・合同墓の土台石に設けた合祀スペースの中に散骨します。
- ・分骨は本堂の阿弥陀如来像下の納骨棚に安置します。
- ・生前予約制で、帰敬式を受けていただきます。
- ・法名・俗名は墓碑に彫刻します。
- ・志納額は御一人30万円、家のお墓から遷(うつ)される御遺骨は15万円。

関心のある方は何なりとお問い合わせください。

☆ 【 盂蘭盆会(うらぼんえ) 】について

世間では、お盆の三日間には地獄の釜のふたが開いて御先祖の霊がこの世に帰ってくるといわれ、また餓鬼道に墜ちた人もお盆の三日間は食物がのどを通るといわれ、「施餓鬼(せがき)」というような行事が行われています。しかしこれは仏教本来の「お盆」の意味ではありません。

何もお盆の間に地獄の釜のふたが開くのもなく、御先祖の霊が帰ってくるわけでもないのです。私たちのご先祖は、そのような行ったり来たりする亡霊のようなものではありません。したがって浄土真宗では、お盆だからといって「施餓鬼」をしたり、特別に派手なお勤めをしたりはしないのです。しかし、お盆に御先祖をお敬いする行事が無意味だというのは決してありません。お盆に仏前で家族揃って御先祖を偲びつつ、賜った生命の尊さを確認することは意義のあることです。

【 餓鬼どもが 餓鬼に施す うら盆会 】

これは暁烏敏(あけがらす・はや)師の句です。お盆に施餓鬼をして先祖供養をしたり、日頃は気にもしていないお墓に参る。一見美しい礼拝・供養の姿の奥にうごめく醜悪な人間の心情が「餓鬼ども」と映ったのでしょう。

「常に飢えたるもの」が餓鬼だと親鸞聖人は言われます。満足感がなく、我欲に追い回され、名利(名誉と利益)に動く心情は餓鬼そのものです。御先祖を仏様としてお敬いすることは尊いことです。しかし、御先祖を餓鬼として供養したり、たたりを恐れて慰霊をしたり、あの世から都合よく守ってもらおうと思う根性こそが、自分の我欲心、名利心を満たし守ってもらおうとする餓鬼の姿であり、これほど御先祖を侮辱することはありません。

「盂蘭盆会」は、目連(もくれん)尊者の母親が餓鬼道に墜ちているのを救うため、釈尊に教えられて法座を立てたことに由来しています。それは、目連自身が仏法を聞く縁に遇って、亡き母を餓鬼道に落としていた我が餓鬼の根性に気づかされる尊い仏縁でありました。

お盆は、あらためて先祖・亡き人の声なき声に耳を傾け、我が身に目覚める聞法のご縁です。どうぞ、お寺での法座にお参りくださり、本来のお盆の意義を共に確認いたしましょう。

◎ “寺”後報告

① 皆さまからの御浄財(御布施や護持費)の積立金をもとに進めていた本堂の改修工事が3月16日に完了しました。これからは**御通夜・御葬儀**だけでなく、**仏前結婚式や金婚式**等の慶事でも本堂をご利用いただきたいと思います。御祝をお供えいただいた方々には誌上にて改めて御礼申し上げます。

② **3/20の春季彼岸会**には、40名もの方々がお参りくださいました。皆さんといっしょに正信偈をお勤めしましたが、お焼香が終わらなかったで、三誓偈 & 嘆仏偈も追加してお勤めしました。読経後、私が「弥陀の救いのバケツリレー」の話をし、途中休憩後、桂文鹿師に落語を二席、「淀川」と「御文さん」を囃していただきました。畳の部分が広くなったので、倍のお参りがあっても空間的にはまだ大丈夫です。来る9/23の秋季彼岸会も別の囃家さんをお招きし落語会を開きます。春と秋の様子を比べて、来年以降の落語会はどちらかの彼岸会で固定化する予定です。



③ **4/6の初参式(兼花まつり)**には、子ども5名がお参りました。記念品に「子ども用数珠+花まつりサイダー+牡丹石鹸」を配りました。今年生まれのお子さんは来年ぜひお参りください。

◇ 古本勧進(ふるほんかんじん)

「古本勧進」は、全国各地の寺院が起点になり、檀家さんの不要になった書籍を集めて、専門の業者さんに引き取ってもらい、その買取金額を東日本被災地復興支援のために寄付させていただくプロジェクトです。現在は、東日本の被災した子ども達の学習を支援する団体である「チャンス・フォー・チルドレン」と「希望のゼミ」の活動資金として寄付しています。

皆さんのご自宅で読み終わられて本棚の肥やしになっている書籍はございませんか？ **不要になった書籍を超覚寺までぜひお持ち寄りください。**お墓参りのついでにお持ちいただけたら有難いです。「読まんようになった本がぶち多いけえ、お寺まで持って行くのが大変やあ」という方は、遠慮なく超覚寺までご連絡ください。車でご自宅までいただきに伺います。

ご不明な点は遠慮なくご質問ください。ただし、百科事典、コンビニブック、個人出版の本、マンガ雑誌、一般雑誌、裏表紙にISBNコードの無い本は取り扱いえないので、あらかじめご了承ください。

◇ 超覚寺文庫

この度、本堂内に書棚を設置し、仏教関連の書籍やマンガ本を並べています。皆さんにもご自由に閲覧いただこうと思いますが、ご自宅で読まれる場合は貸出帳にご記入の上お借りください。

また、上記の古本勧進と別に、超覚寺文庫への仏教関連本の寄進も受け付けておりますので、よろしくお願いいたします。

◇ セコムしてますか？ 今でしょ！！

このたび、本堂の阿弥陀如来像の周囲にセキュリティーシステムを導入しました。今までは盗難防止のため2階の出入り口には鍵をかけていましたので、自由に本堂内までお参りできませんでした。今後は**10時～16時の間は解錠**しておりますので、**本堂の阿弥陀様にも自由にお参りいただけるようになります。**ただし、法要等で施錠して出入りできない場合もありますので、悪しからずご了承ください。

超覚寺仏教婦人会 準備会の御案内

これまで御案内していた通り、来年の正式発足に向けて、この半年間は準備期間に充てる予定です。毎月最終日曜日に開いている学習会の後に引き続いて婦人会の準備会を開きたいと、でも堅苦しい集まりではなく、お茶菓子をいただきながらワイワイガヤガヤで打ち合わせできたらと考えています。名称も【仏教婦人会】にこだわる必要はなく、【仏教女子会】なんというのも良いかなあとも思っています。

まずは**7月28日15時**から第1回婦人会準備会を開きます。今回は盆法要に備えて本堂の仏具の御磨きをしながら、お互いの親睦を深めたいと思います。できれば14時からの学習会にも参加いただければ嬉しいです。

参加を希望される方はこの申込書にご記入の上、お越しください。よろしくお願いいたします。合掌

超覚寺仏教婦人会 参加申込書

氏名

生年月日

住所 〒

電話番号

東本願寺お煤払い奉仕団の御案内

昨年は、9月15・16・17日に京都の東本願寺に超覚寺御門徒12名でお参りいたしました。しかし三連休で地元の行事等が重なって見送られた方も少なくなく、再度お参りすべく、団体参拝を企画致しました。

今年は**12月18・19・20日(水木金)**の日程になります。昨年同様、境内の同朋会館で二泊し講義・座談・諸殿拝観などで過ごしますが、今回は東本願寺本堂の清掃奉仕がメインになります。親鸞聖人のお墓(大谷祖廟)への参拝も予定しております。総費用は4万円です。

寒い時期ではありますが、この時期しかできない団体参拝です。参加を希望される方は、この申込書にご記入の上、お持ちください。よろしく願いいたします。合掌

団体参拝（2013／12／18・19・20）申込書

氏名

住所 〒